



**2006年3月期  
決算説明会**

2006年5月25日

南海電気鉄道株式会社



NANKAI



# 1. 当社の概要

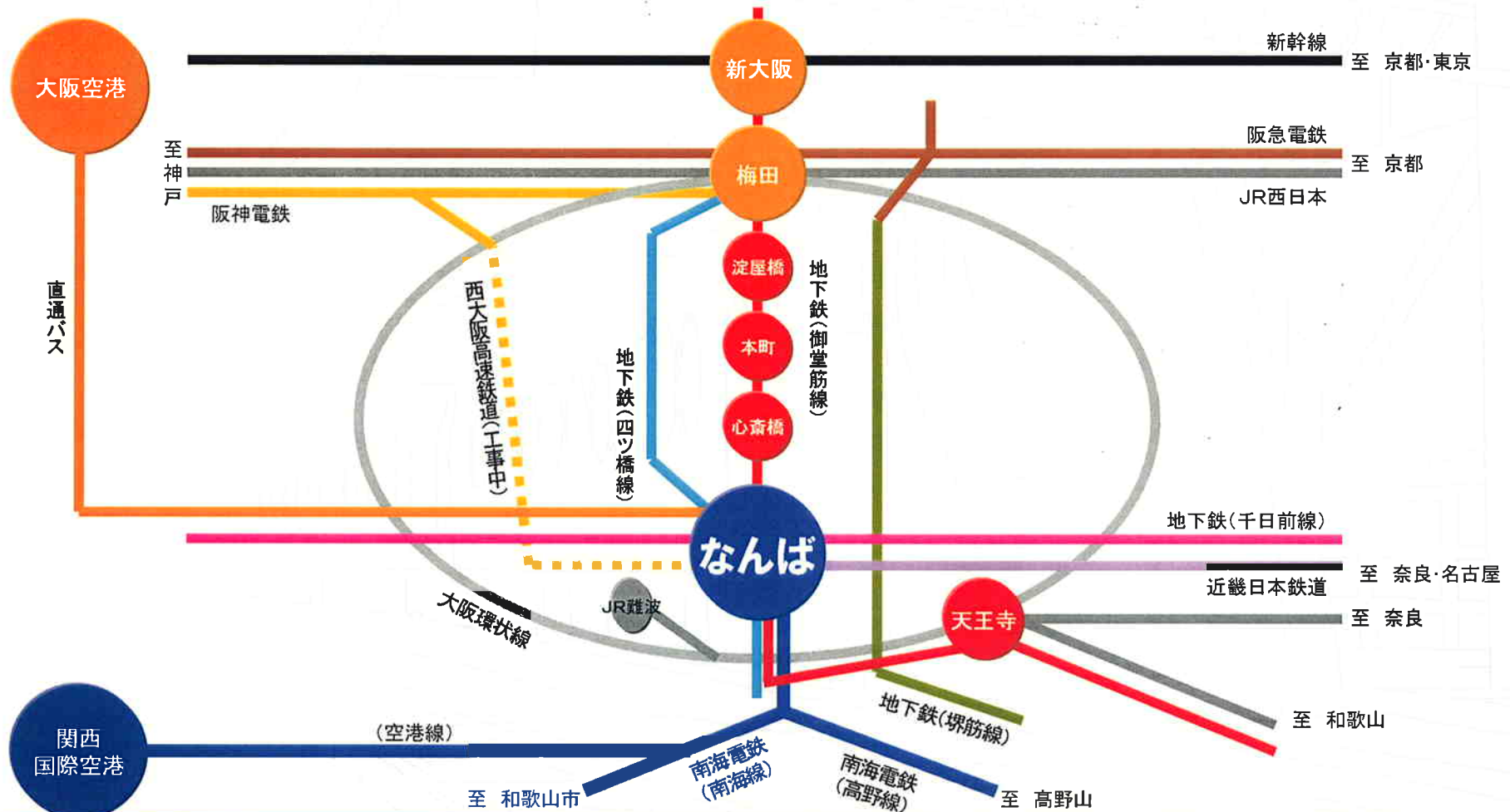
# 1) 会社概要 (2006年3月31日現在)

商号	南海電気鉄道株式会社 (英語名:Nankai Electric Railway Co., Ltd.)
創業	明治18(1885)年12月27日
設立	大正14(1925)年3月28日
本社	大阪府中央区難波五丁目1番60号
代表者	取締役社長 山中 諄
資本金	637億3,903万円
従業員数	7,515人(連結)
事業内容	●運輸業 ●不動産業 ●流通業 ●レジャー・サービス業 ●建設業 ●その他の事業
事業所	本社(大阪市)／和歌山支社(和歌山市) ／東京事務所(中央区)



## 2) 沿線マップ-①

南海電鉄の始発ターミナル「なんば」エリアは  
多数の鉄道が乗り入れる大阪屈指の大規模商業集積エリア







### 3) 南海グループの事業と企業集団の状況

鉄道事業を軸とした総合生活企業として、社会の発展とともに、広く社会に貢献することを目指す

運輸業	31社	●鉄道事業 ●軌道事業 ●バス事業 ●海運業 ●貨物運送業 ●車両整備業
不動産業	7社	●不動産賃貸業 ●不動産販売業
流通業	13社	●ショッピングセンターの経営 ●物品販売業 ●建築材料卸売業
レジャー・サービス業	24社	●遊園事業 ●旅行業 ●ホテル・旅館業 ●競艇施設賃貸業 ●ビル管理メンテナンス業
建設業	6社	●建設業
その他の事業	7社	●印刷業 ●損害保険代理業 ●広告代理業
		南海電鉄、子会社76社（うち、連結子会社68社）、関連会社6社 （うち、持分法適用関連会社5社） 合計83社

2006. 3末 現在



## 2. 2006年3月期の連結決算 概要と2007年3月期予想

# 1) 業績ハイライト

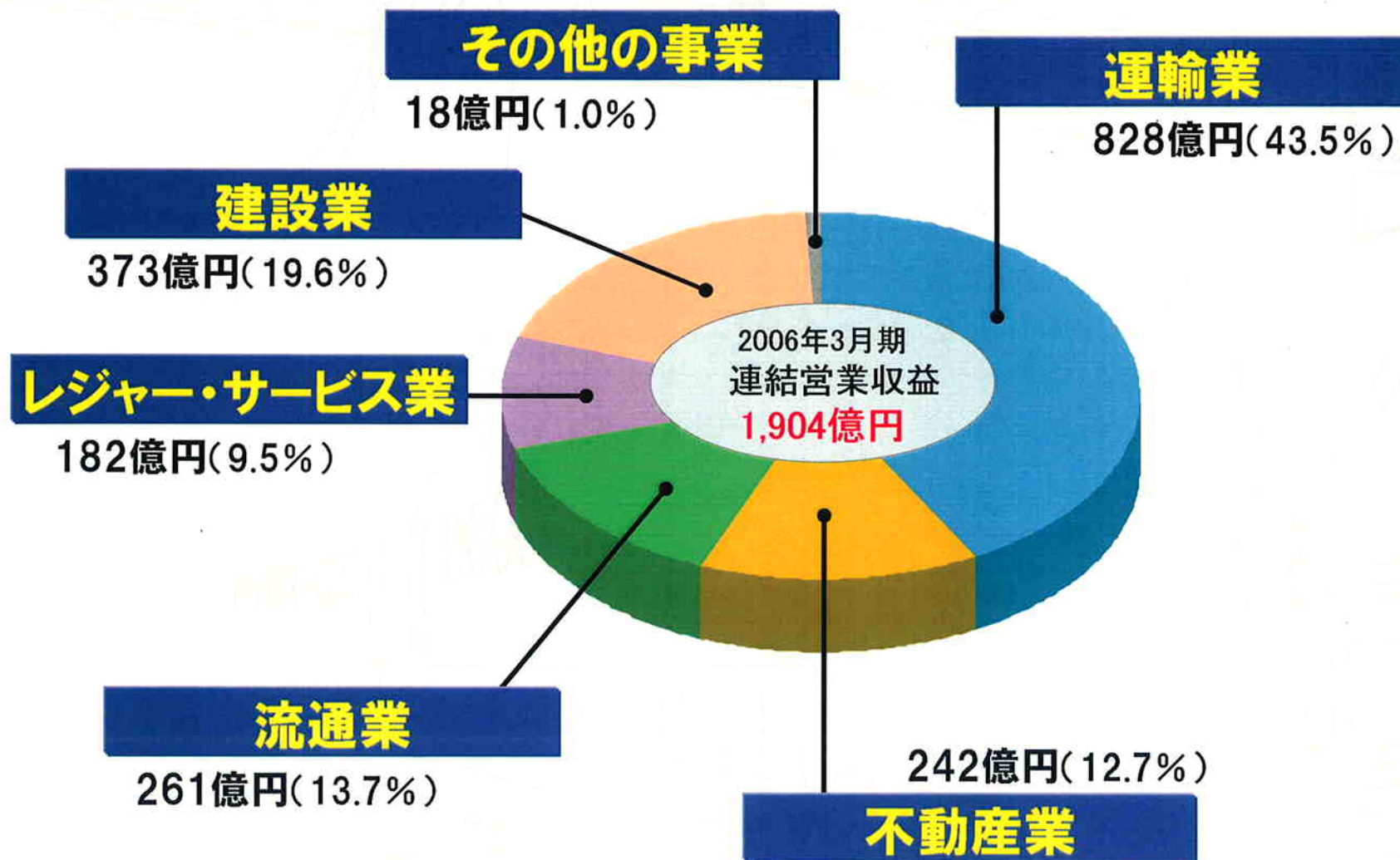
(単位:百万円)

	実績				予想 (2005年11月15日現在)
	2005年3月期	2006年3月期	前年同期比 増減率(%)	予想比 増減率(%)	2006年3月期
営業収益	196,210	190,450	△ 2.9	△ 0.8	192,000
営業利益	20,990	23,525	12.1	9.4	21,500
経常利益	9,470	12,923	36.5	29.2	10,000
当期純利益	7,737	△ 6,543	—	—	△ 11,000
総資産	885,067	861,039	△ 2.7	—	—
株主資本	121,960	121,951	△ 0.0	—	—
有利子負債残高	556,517	537,595	△ 3.4	—	—

- 減損会計適用等による特別損失計上により当期純損失65億4,300万円発生
- 有利子負債残高は、2005年3月期末比189億円減少



## 2) セグメント別業績-①



※外部顧客に対する営業収益

## 2) セグメント別業績-② 営業収益

### ■ 事業セグメント別の営業収益

(単位:百万円)

	2005年3月期	2006年3月期	前年同期比 増減率(%)	増減理由
運輸業	83,929	84,651	0.9	バス事業の増収
不動産業	29,044	25,507	△ 12.2	不動産販売収入の減収
流通業	29,026	28,209	△ 2.8	2004.9南海徳島ビルディング 経営権譲渡
レジャー・サービス業	28,504	28,365	△ 0.5	ホテル2施設の経営権譲渡
建設業	43,734	46,978	7.4	工事受注高の増加
その他の事業	3,611	4,473	23.8	
消去又は全社	21,640	27,736	28.2	
連結	196,210	190,450	△ 2.9	



## 2) セグメント別業績-③ 営業利益

### ■事業セグメント別の営業利益

(単位:百万円)

	2005年3月期	2006年3月期	前年同期比 増減率(%)	増減理由
運輸業	10,988	10,947	△ 0.4	鉄道事業・バス事業増益 海運業・貨物運送業減益
不動産業	6,494	8,456	30.2	不動産賃貸事業で増益
流通業	1,751	1,884	7.6	2004.9南海徳島ビルディング 経営権譲渡
レジャー・サービス業	1,266	1,503	18.7	ビル管理メンテナンス業の 利益率向上
建設業	626	716	14.5	工事原価管理徹底と経費の 削減による利益率向上
その他の事業	55	227	311.7	
消去又は全社	190	211	10.7	
連結	20,990	23,525	12.1	

### 3) キャッシュ・フローの状況

(単位:百万円)

	2005年3月期	2006年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	34,885	36,541
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,124	△ 15,552
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,297	△ 20,394
現金及び現金同等物 期末残高	20,471	21,065

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、営業利益の増加等により16億55百万円の増加
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券を売却したこと等により95億71百万円の減少
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済、社債の償還等を行ったこと等により203億94百万円の流出



## 4) 資産の状況

(単位:百万円)

	前期末 (05.3月末)	今期末 (06.3月末)	比較増減額	増減理由
流動資産	137,657	133,685	$\Delta 3,972$	
現金及び預金	22,187	22,619	432	
棚卸資産	79,978	76,636	$\Delta 3,341$	販売用不動産の減少
固定資産	747,409	727,354	$\Delta 20,054$	
有形固定資産	684,984	662,477	$\Delta 22,507$	減損会計適用による事業用固定資産の減
総資産	885,067	861,039	$\Delta 24,027$	
流動負債	260,552	225,888	$\Delta 34,663$	
短期有利子負債	186,614	152,019	$\Delta 34,595$	借入金の返済、社債償還
固定負債	499,881	510,389	10,507	
長期有利子負債	369,903	385,576	15,672	社債償還資金の調達

## 5) 2007年3月期の業績予想

(単位:百万円)

	実績		予想	
	2006年3月期	前年同期比 増減率(%)	2007年3月期	前年同期比 増減率(%)
営業収益	190,450	△ 2.9	196,000	2.9
営業利益	23,525	12.1	25,900	10.1
営業利益率	12.4	—	13.2	—
経常利益	12,923	36.5	15,000	16.1
経常利益率	6.8	—	7.7	—
当期純利益	△ 6,543	—	9,400	—
当期純利益率	△ 3.4	—	4.8	—



## 6) 2007年3月期セグメント別業績予想-① 営業収益

(単位:百万円)

	実績		予想	
	2006年3月期	前年同期比 増減率(%)	2007年3月期	前年同期比 増減率(%)
運輸業	84,651	0.9	83,700	△ 1.1
不動産業	25,507	△ 12.2	31,800	24.7
流通業	28,209	△ 2.8	26,500	△ 6.1
レジャー・サービス業	28,365	△ 0.5	26,700	△ 5.9
建設業	46,978	7.4	50,500	7.5
その他の事業	4,473	23.8	4,000	△ 10.6
消去又は全社	27,736	28.2	27,200	△ 1.9
合計	190,450	△ 2.9	196,000	2.9

## 6) 2007年3月期セグメント別業績予想-② 営業利益

(単位:百万円)

	実績		予想	
	2006年3月期	前年同期比 増減率(%)	2007年3月期	前年同期比 増減率(%)
運輸業	10,947	△ 0.4	11,900	8.7
不動産業	8,456	30.2	11,300	33.6
流通業	1,884	7.6	500	△ 73.5
レジャー・サービス業	1,503	18.7	1,100	△ 26.9
建設業	716	14.5	900	25.6
その他の事業	227	311.7	200	△ 12.1
消去又は全社	211	10.7	0	—
合計	23,525	12.1	25,900	10.1





### 3. 今後の戦略

# 1) 進化123計画の基本方針

## 「進化123計画」 (2006年3月期～2008年3月期)

「攻勢への転換期となる3か年」と位置づけ、創業123年目に向けて推進中。

### (基本方針)

- ①沿線価値向上に資する施策の重点実施
- ②現行事業のブラッシュアップ
- ③市場変化を先取りした新たな事業展開
- ④「攻勢型」企業グループの構築
- ⑤有利子負債圧縮及び内部留保蓄積による財務体質の強化



## 2) 進化123計画

### ①沿線価値向上に資する施策の重点実施

#### 難波地区は新たな成長ステージへ

玄関口である「難波」をいっそう輝かせることによって、後背の沿線エリアにも波及効果をもたらし、沿線価値向上を推進。

- 2003年10月 なんばパークス第1期開業
- 2006年3月 ヤマダ電機開業
- 秋 なんばマルイ開業
- 2007年春 なんばパークス第2期開業
- 夏 超高層マンションザ・なんばタワー完成  
関空2期滑走路供用開始
- 2009年 高島屋TE館開業  
阪神西大阪線難波延伸完成

## 2) 進化123計画

### ①沿線価値向上に資する施策の重点実施

#### 難波地区は新たな成長ステージへ



ザ・なんばタワー  
(2007年夏完成)



高島屋TE館  
(2009年秋)



なんばマルイ(2006年秋開業)



ヤマダ電機(2006年3月開業)



なんばパークス全景  
(2007年春全館完成)



## 2) 進化123計画

### ①沿線価値向上に資する施策の重点実施

●沿線に眠る歴史・文化遺産の掘り起こし、育成

●芸術・文化活動の支援

- ・南海沿線リレーフォーラム
- ・南海コンサート

世界遺産登録を目指す仁徳天皇陵(堺市)→



●住環境の整った良質な住宅地の供給

- ・南海林間田園都市「彩の台」に大型商業施設を誘致

オー・ストリート橋本彩の台→



## 2) 進化123計画

### ②現行事業のブラッシュアップ

#### 鉄道事業

きめ細やかなサービスの提供によって、きめ細やかな増収につなげる。

- 鉄道乗車券のICカード化 2006年7月1日導入予定
- 魅力ある駅づくり
- 最大の商品である鉄道ダイヤの改正を実施  
(2005年10月16日高野線・11月27日南海線)
  - ・ 関空～和歌山方面の乗り換えをスムーズ化
  - ・ ラピート100円特急券の発売(関西空港～泉佐野駅)
  - ・ 通勤者向け特急の整備(ダイヤ改正後の特急料収入、対前年比4.3%増)
- 鉄道周辺事業収入の強化
  - ・ 堺東車庫を移転集約し、マンション開発



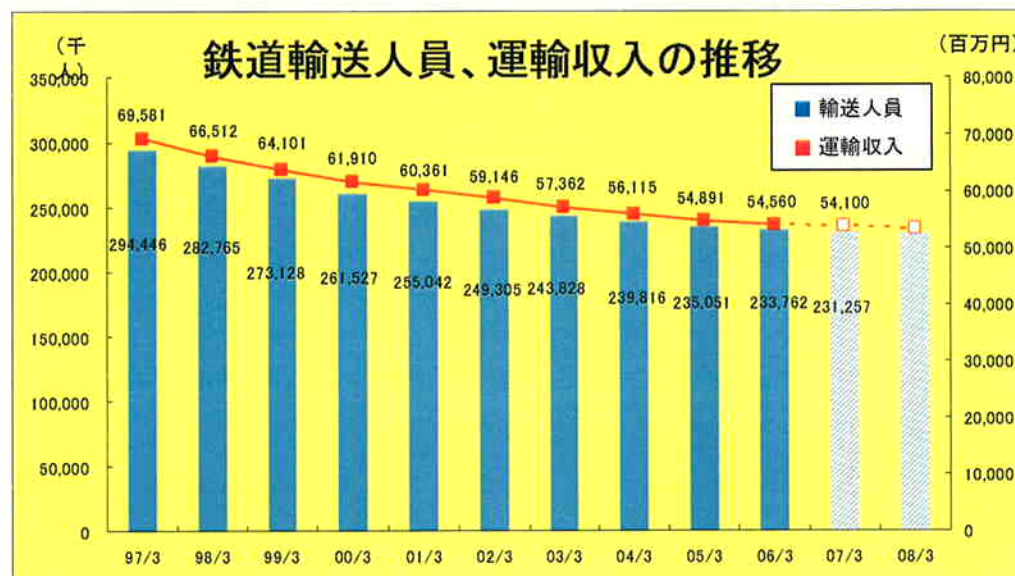
関空～和歌山方面の乗り換えをスムーズ化した泉佐野駅3番・4番ホーム



# 2) 進化123計画

## ② 現行事業のブラッシュアップ

<参考>



## 2) 進化123計画

### ③市場変化を先取りした新たな事業展開

#### 葬祭会館1号店「ティア橋本」を3月スタート

- 100%子会社(株)グリーンサポートが運営
- 沿線エリアにおける当社に対する「信頼感」と「明確な価格設定」を強みに新たな事業展開
- 2006年中に2号店。多店舗化を推進

##### ● ティア橋本概要

- ・開業 2006年3月25日
- ・初年度売上目標 8,000万円



ティア橋本→



## 2) 進化123計画

### ③市場変化を先取りした新たな事業展開

#### 「minapita」カード発行 2月から会員募集を開始

当社沿線エリアで幅広くご愛用いただくことをイメージし、  
「みんなにピッタリ ミナミのPiTaPa」がキャッチフレーズ

- IC乗車カード「PiTaPa」とクレジットカード(VISA・JCB)の2枚1組
- カード利用による「minapita」ポイントの付与  
(南海グループ施設や高島屋、関西国際空港などで利用するとボーナスポイントを付与)
- 南海なんば駅土・休日ポイント、レール&ショッピングポイント
- なんばCITYなどグループ流通施設でのお買い物5%オフ
- 目標会員数 20万人(2011年)

minapita (PiTaPa) カード



minapita (VISA) カード



minapita (JCB) カード



## 2) 進化123計画

### ③市場変化を先取りした新たな事業展開

#### 公共施設の運営受託を強化

- 指定管理者制度に基づき、沿線自治体から9施設の運営を受託中
- 4月からは大阪府立体育会館の受託開始



官業の民間開放推進の流れを受け、将来的には公営交通をはじめ、参入分野の拡大を図る。



大阪府立体育会館



## 2) 進化123計画

### ④「攻勢型」企業グループの構築

#### 「攻勢型」企業グループの構築に向けて

##### ①ビルメンテナンス事業の強化

南海ビルサービス(株)が東京支店を開設

##### ②国際貨物事業の強化

- ・りんくうタウンにロジスティクスセンター開設
- ・温度管理コンテナのリース事業を開始

##### ③住之江競艇場ナイター営業開始

- ・開始時期 2006年夏から



住之江競艇場ナイター(イメージ)→

## 2) 進化123計画

### ⑤有利子負債圧縮及び内部留保蓄積による財務体質の強化

目標(経常利益・有利子負債残高)の超過達成に向けて、順調に進捗

連結ベース	2006年3月期 実績	2007年3月期 予想	2008年3月期 目標
営業収益	1,904億円	1,960億円	—
営業利益	235億円	259億円	—
経常利益	129億円	150億円	130億円
有利子負債残高	5,375億円	5,340億円	5,300億円以下

※2008年3月期の目標数値は2005年11月に策定



### 3) 2008年3月期の数値目標

#### セグメント別営業収益

(単位:億円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 予想	2008年3月期 目標
運輸業	846	837	809
不動産業	255	318	265
流通業	282	265	296
レジャー・ サービス業	283	267	253
建設業	469	505	447
その他の事業	44	40	37
消去又は全社	277	272	234
営業収益	1,904	1,960	1,873

#### セグメント別営業利益

(単位:億円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 予想	2008年3月期 目標
運輸業	109	119	107
不動産業	84	113	85
流通業	18	5	28
レジャー・ サービス業	15	11	21
建設業	7	9	12
その他の事業	2	2	2
消去又は全社	2	0	9
営業利益	235	259	246

※2008年3月期の目標数値は2005年11月に策定

## 4) 3か年の設備投資実績と計画

### 設備投資の実績及び計画

(単位:百万円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 計画	2008年3月期 計画
運輸業	10,815	9,568	8,878
不動産業	6,656	1,174	1,295
流通業	3,975	9,101	7,577
レジャー・ サービス業	548	2,956	1,344
建設業	52	0	0
その他の事業	132	0	0
合計	22,181	22,799	19,095

(※)参考 減価償却費の見通し (消去前数値) (単位:百万円)

	2006年3月期 実績	2007年3月期 見通し	2008年3月期 見通し
運輸業	11,252	10,862	10,694
不動産業	3,989	4,039	3,746
流通業	2,487	2,291	2,908
レジャー・ サービス業	1,525	1,442	1,394
建設業	184	1	1
その他の事業	81	77	48
合計	19,521	18,712	18,792



## 5) 長期経営ビジョン

### 10年後の南海グループ像

#### ① 高いクオリティを持つ企業集団としての「南海グループ」

「スケール(規模)よりもクオリティ(質)を追求する企業グループ」を目指します。  
良質な商品・サービスをお客さまに提供し、逆境にも強い事業構造と強固な財務体質を有する、あらゆる面で高品質な企業グループへと変革を遂げます。

#### ② 全国的に信頼される「南海ブランド」

お客さま、株主さま、取引先さまなど、あらゆるステークホルダーとの信頼関係を重んじ、良き企業市民として、全国的に信頼される「南海ブランド」を確立します。

# IRのお問い合わせ先

## 南海電気鉄道株式会社

〒542-8503 大阪市中央区難波5-1-60

総務本部 IR広報部

TEL: 06-6644-7125 FAX: 06-6644-7123

URL: <http://www.nankai.co.jp/>

本資料は投資勧誘を目的とした資料ではありません。あくまでも参考資料であり、正確な決算数値等は決算短信・有価証券報告書等をご参照下さい。本資料で記述しております業績予想並びに将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて算定しておりますが、需要動向などの業況の変化、物価変動等、多分に不確定要素を含んでおります。そのため、実際の業績は、様々な要因の変化により業績予想と乖離することもありますので、ご承知おきいただきますようお願いいたします。